

令和 5 年度  
第 1 回 呉市地域再生協議会  
会議記録

【開催概要】

日 時 令和 5 年 12 月 14 日（木）14：00～15：00

場 所 呉市役所防災会議室

出席者 構成員

区分	機関・団体名称等
商工団体	呉商工会議所
	呉広域商工会
	広島県中小企業家同友会呉支部
	公益財団法人くれ産業振興センター
金融機関	株式会社伊予銀行
	呉信用金庫
	株式会社商工組合中央金庫
	株式会社中国銀行
	株式会社広島銀行
	広島県信用組合
	広島市信用組合
	広島信用金庫
	株式会社もみじ銀行
株式会社山口銀行	
事務局	呉市産業部商工振興課

【会議記録】

1 開会

商工振興課長挨拶，資料確認

2 議題

「（1）地域再生支援利子補給金制度と地域再生協議会について」事務局から内閣府

の「地域再生支援利子補給制度のご案内」をもとに制度の概要について説明。

(広島県信用組合)

呉市が活用しようとしている対象事業をもう一度教えてほしい。

(事務局)

①②⑥である。

「(2) 呉市地域再生協議会の設置について」事務局から協議会規約(案)について説明

(呉広域商工会)

規約の別表の構成団体に(公財)くれ産業振興センターが入っていないのは何か理由があるのか。

(事務局)

失礼した。記載漏れである。

(事務局)

記載した上で、(案)をとらせていただくことで異議ないか。

→異議なし

「(3) 地域再生計画について」事務局から呉市地域再生計画(案)について説明

(山口銀行)

対象となる事業者は呉市に所在するなどといった条件はあるか。

例えば、東広島市に事業所があり、呉市で事業を実施する場合など。

(事務局)

国に確認する必要があるが、あくまで呉市の制度であるため、呉市の事業者が呉市内で設備投資をする場合に限られるかと思う。

(もみじ銀行)

対象事業①②⑥と説明があったが、⑥には⑩の事業も含まれるという認識で良いか。

(事務局)

おっしゃるとおり風力発電・太陽光発電・グリーンビルディングなども含めて地球温暖化対策に入ってくるかと思う。申請される際の事業計画には、投資によってどれだけの効果があるか見せていただく必要はあると考えている。

(広島信用金庫)

何点か確認させていただきたい。まず事業の新規性の判断について。市場において全くの新規なのか、それともその企業によって新規なのかどのように考えればよいか教えていただきたい。

(事務局)

新規性については、市場にとって全く出ていない技術ということではない。どういう部分で新規性なのかは、事業計画で確認できる必要があるかと思うので、企業にとって今まで取り組んでいないジャンルに投資していく、新事業に展開していくと

いうことであれば、新規性とみることができるのではないか。

(広島信用金庫)

事業再構築レベルということか。

(事務局)

おっしゃるとおりである。

(広島信用金庫)

制度について、市内企業にどのように周知していくのか。金融機関が広報できる範囲にも限界があり、呉市としてどのように考えているのか。また、どのように金融機関と連携していくのか教えてほしい。

(事務局)

広報については、市政だよりに掲載しようと考えている。新聞等のマスコミにも、国に認可を受けた時点で制度が使えるという周知をしていきたい。金融機関においては事業者を訪問する際にご協力いただきたい。支援機関については、会員に周知いただく形をとれば良いかと考えている。

(広島信用金庫)

委員の中に広島県中小企業家同友会の方もいらっしゃるし、法人会などに出て説明されるのも良いかと思う。計画 P. 10 以降に様々な支援措置が記載されているが、これは今回の地域再生支援利子補給金制度を利用されようとする事業者への支援なのか。

(事務局)

こちらについては、地域再生計画に記載している数値目標を達成するためにどのような事業をしているのかを記載している。計画とは切り離されているが、連携している。それぞれの事業が影響を与えている。P. 11③呉市脱炭素化設備等導入補助金を利用する時に、利子補給制度が活用できると考えている。その他の制度についても、利子補給制度と併用して支援できるものがあると思う。

(広島信用金庫)

例えば、利子補給金を活用するため、P. 11⑤専門家による技術支援でくれ産業振興センターより専門家の支援を受けて新規の販路開拓や新規の設備計画を作成するなど、併用して利用は可能か。

(事務局)

可能である。

#### 「(4) その他について」事務局から説明

10月19日に実施した融資担当者会議で案内したアンケートの集計結果を配付

(事務局)

この際なので、何か意見・要望はあるか。支援機関の皆様は、こういった制度を実施するにあたり、どういった広報ができるか、また呉市としてどういったことをやってほしいかなどあれば一言いただきたい。

(呉商工会議所)

事業者への周知について、県の補助金などもなかなか広報紙などで周知しても分かりにくいという声をいただく。事業者に分かりやすく伝わるチラシなどあれば良いかと思う。利子補給制度は、どのような融資が対象になるのか。

(事務局)

どういった設備が対象になるかということか。

(呉商工会議所)

設備投資の融資に対するものなのか、運転資金でも対象なのか。

(事務局)

対象事業①②⑥に合致する計画をもって投資される事業になる。ほとんどが設備になるかと思う。

(呉商工会議所)

金融機関で金利の低い商品があったら、もしかしたらゼロゼロ融資のように、金利がゼロになる可能性もあるか。

(事務局)

最大0.7%なので可能性はある。

(呉商工会議所)

事業者が取組をする際、事業再構築のような数値目標との話があったが、付加価値が年3%上がるような計画を立てないと使えないのか。

(事務局)

現時点で詳細な様式等を定めているわけではないが、新規性と付加価値は直結しないと考える。現時点では、何をもって新規事業に取り組むのかというところを記載いただければと思う。

(呉商工会議所)

具体的な数値が記載できなくてもよいか。

(事務局)

付加価値についてはよい。

(広島県中小企業家同友会呉支部)

周知については、ホームページなどでPRができるのではないかと思う。事業者の新しいチャレンジに伴走というかどのように支援できるかが肝になるかと思う。先日、呉市の販路拡大セミナーに出席し、水産業・農業など幅広い分野の事業者が新しい取組にチャレンジしていく話を伺うと、明るい未来が見えてきた。製造業のまちという話があったが、製造業にこだわらず、業種を広げれば、もっとたくさんの方を応援できるのではないかと思う。また、計画の名称について、このとおりでと思うが、例えば堺市のようにもう少し明るくなるようなキャッチフレーズに近いものができれば良いのではないか。呉だと「大和の技術を継承する呉」、「逆境を糧にする呉」のような旗印になるようなものがあれば良いと思う。

(事務局)

貴重な意見感謝する。事務局で元気の出るようなキャッチフレーズがあれば考えたい。

(くれ産業振興センター)

私どもは他の支援機関と違い、会員はいない。事業者に対し課題解決などの支援を行っている。広報は基本足で稼ぐことをイメージしており、企業訪問をする際に周知していきたい。宣伝になるが、約3年前まで工業系に特化した支援機関という認識があったかと思うが、Bit's 呉という愛称をつけ、ビジネス総合支援サービスということで、直近では食品関係の新製品の開発や販路拡大も守備範囲としている。金融機関の支援先に我々が得意としている分野でお手伝いできることがあれば、お声がけいただければと思う。

(呉信用金庫)

農協や漁協は入れないのか。

(事務局)

今回は賛同していただいた金融機関と支援機関にお声がけさせていただいた。もしそういった要望があれば、今後メンバーに入れたいと考えている。

(広島信用金庫)

融資条件は任意か。制度融資でなく、金融機関が任意で顧客毎に設定する融資条件の中で0.7%の利子補給ということか。

(事務局)

特に制度融資に係らず、地域再生支援事業に関する融資であれば種類は問わない。

(広島信用金庫)

呉市の融資制度に対する利子補給も可能か。

(事務局)

可能である。

(広島銀行)

この制度は利子補給が受けられるメリットがあるが、利子補給期間のモニタリングなど事務の面の負担があるため、3,000万や5,000万などの小さいロットのものよりも、それなりのロットのものを利用する方が、事業者にとっても金融機関にとってもメリットがあると考えている。一方、金額が大きいと予算の都合があると思うので、どのくらいのを想定しているか。また、再生エネルギーなどの大きい設備を導入する場合、複数行でシンジケートローンを利用することもあるかと思う。そういった場合、この制度は利用できるか。

(事務局)

設備の規模については、企業によって様々であると思うが、現在想定している脱炭素関係だと太陽光発電が一つ考えられる。据え置く場合は大きさによるが3,000万円~4,000万円はかかってくるだろう。一方、太陽光発電以外の設備でこの融資制度を利用される場合の事業規模は企業判断になるかと思うが、設備として500万円などの1,000万円以下のものも小さな企業にとっては、イニシャルコストがないた

め、こういった利子補給の制度があれば活用を考えられるのではないかと思う。正直、モニタリング等などの事務量があるので、あまり安価なもので申請はされないケースは想定される。シンジケートローンについては、国に確認する。

(広島県信用組合)

詳細な事業計画の作成を委託するのに費用が何十万もかかる経験をしてきたが、この制度を利用するのに、どのようなレベルの計画書をイメージすればよいか。

(事務局)

すでに実施されている自治体もあるので、分量・内容についてはそちらを参考にするのが一番分かりやすいと思う。

(広島県信用組合)

素人のような方が作るものでも可能か。

(事務局)

企業の方が独自で作るというイメージか。申請は金融機関の方と協力してされると思うが、今後の事業の展望などは求められてくるだろう。それなりの精度のものが必要で、企業が行う事業に精通している必要はある。

(株式会社商工組合中央金庫)

他の地域の計画が記載されているが、実際どれくらい予算が活用されているか。融資額などが分かれば教えていただきたい。

(事務局)

コロナ禍もあり、近年はどの自治体もなかなか利用がないようだが、遠野市は令和4年度で2件・計3.5億円、令和3年度は0件、令和2年度は1件・1億円という実績はある。

(株式会社商工組合中央金庫)

令和5年度予算2.3億円は余裕があるということか。使おうと思えば使えるのか。利子補給金の予算が2.3億円ということか

(事務局)

そうである。令和6年度は2.5億円ほど内閣府の予算案に計上されていた。

(事務局)

他に質問等はないか。なければこの程度とさせていただく。もし何か気づきなどあれば、事務局に連絡いただきたい。これから金融機関においては国へ申請することになるかと思うが、分からないことが出てくるかと思う。我々も初めてのことなので、国と協議して進めたいと考えている。

### 3 閉会